

# 県 事 研 会 報

発行人 熊本県学校事務研究協議会会長 原口 豊  
編集代表 事務局長 藤川 英一

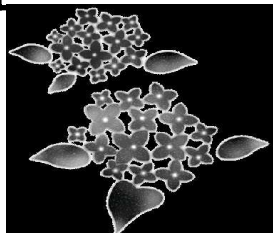
第68号

事務局 熊本市立桜木小学校内  
〒861-2118熊本市花立2丁目23-1  
096(368)6095 Fax096(331)1514

平成14年6月30日

< 今回の主な内容 >

- ・会長挨拶
- ・理事会だより
- ・平成14年度役員
- ・県大会の概要
- ・研究部だより(編集)
- ・弔辞



## ご 挨 拶

熊本県学校事務研究協議会会長 原口 豊

多くの優秀な方々がおられます中で、全く僭越ではありますが理事会の選任によりまして平成14年度の会長をお引き受けすることになりました原口 豊と申します。学校事務職員生活31年目を迎え、現在一宮町立宮地小学校に勤務しております。人格識見ともにすばらしく、心から尊敬申し上げておりました日野会長のあとを受けてということで、大変身の引き締まる思いであります。会員の皆様、理事の皆様、そして事務局、研究部の皆様のご協力の下、微力ながら熊本県学校事務研究協議会のさらなる発展のために全力を尽くして参りたいと思っております。どうかよろしく願いいたします。

はじめに、熊本県教育委員会、熊本市教育委員会、熊本県市町村教育委員会連絡協議会、熊本県小中学校長会はじめ多くの皆様方から本会に対して多大なご支援をいただいておりますことに深く感謝申し上げますとともに、今後とも一層のご支援ご鞭撻をお願い申し上げます。

本会の目的は会則第3条に掲げてありますように、「学校教育の効果をあげるために学校事務の向上発展を図る」、「会員の資質の向上につとめ、その社会的、経済的地位の向上を図る」ことにあり、その目的を達成するために「学校事務研修会の開催」、「会報の発行」、「その他、会の目的を達成するために必要なこと」といった事業を行っています。このことは本会設立時の諸先輩方の確固たる理念であり今もなんら変わることはありません。

私は、この諸先輩方が示された意思を大切に育んでいかなければならないと考えています。

さて、平成10年9月に出された「中央教育審議会答申」以来、様々な教育改革が行われています。その一つとして、学校管理規則の見直しが全国的に行われているのはご承知のとおりです。本会でも、昨年研究部から「学校管理運営規則モデル案」が示され、それを基にして、人吉市では「人吉市立小中学校管理運営規則」として結実しました。

地方分権は市町村分権であり、将来的には個々の学校分権あるいは個人分権にまで到達するという見解もあります。個々の学校であるいは個人で責任を伴いながら学校教育を推進していくことが求められる時代になるかもしれません。このような状況の中で、私たち学校事務職員は何をなすべきか、しっかりと将来を見据え考えていく必要があります。

本会は先輩の意思を受け継ぎながらも、学校事務職員のそして熊本県学校事務研究協議会の未来を考えながら、その時代に沿った改革を行っています。「誰もができる県事務研の役員」、「誰から見ても透明性のある運営」ということで会則の改正や細則の設置等を行ってきました。本年度は事務局長・事務局員の選出について会員の皆様方のお知恵を拝借したいと考えております。

誠心誠意、精一杯つとめさせていただきたいと考えていますので、よろしくご協力のほどお願いいたします。

# 第1回 理事会だより

新しい理事5名を迎えて、今年度最初の理事会を5月30日に開催しました。議事の概要についてお知らせします。

## 1 旧年度報告および新年度の計画

- (1) 平成13年度事業報告
- (2) 平成13年度決算報告
- (3) 平成13年度監査報告

理事会としては報告のとおり承認をしました。大会会計の繰越金の取り扱いについては昨年度理事会で決定したとおり、今年度の大会参加費で調整します。

- (4) 平成14年度役員
- (5) 平成14年度事業計画案
- (6) 平成14年度会計予算案

総会で会員の皆様にお諮りする今年度の諸計画及び会計について協議し、理事会案を決定しました。

なお、会長および役員に関しては、次頁のとおりです。理事会として、会長は日野育夫さんに代わり、阿蘇地区の原口豊さん、副会長は熊本市の桑原義勝さんと鹿本地区の浅香幸一さんのお二人、事務局長は熊本市の藤川英一さん、研究部長には球人地区の大岩眞二さんを選出し、地区から推薦のありました事務局員4名について承認しました。

## 2 県大会について

- (1) 開催要項
- (2) 全体研究会実施計画
- (3) 分科会運営要項
- (4) 今年度の大会期日および借用施設
- (5) 大会協力員配置計画
- (6) 大会までのスケジュール
- (7) 参加者集約のお願い
- (8) 大会当日のスケジュール

第28回大会については昨年度の第4回理事会で、その骨格について承認しておりましたので、今回はその具体的な中身について話し合いを持ちました。今年度は10月29日(火)～30日(水)の二日間、メルパルク熊本をメインに開催します。

大会までに各地区研にお願いしなければならないこと、協力していただかなければならないことがいろいろとあります。会員の皆様、県大会についてはご協力をお願いします。

## 3 懸案事項に関して

### (1) 機構整備について

これまで「会計の見直し」や「研究部の設置」「総会のあり方」等について進めてきた県事務研の機構整備ですが、今後も引き続き協議していくとの前回理事会の決定を受けて、理事会として、役員を選出(おもに事務局員選出を中心として)について、これから具体的にどのように進めていくか話し合いました。今後も各地区での論議をお願いすることになるかと思えます。よろしくをお願いします。

### (2) 義務教育費国庫負担制度からの事務職員適用除外問題について

これまでの取り組みを継続し、今年度も熊本県議会へ請願書を提出することを決定しました。

なお、本会による県議会請願は1985(昭和60)年以来、毎年行っているもので、今回で18回目となります。

# 平成14年度 役員紹介

## 理事等

	地区	氏名	学校名
1	会長 (阿蘇)	原口 豊	宮地小学校
2	副会長 (熊本)	桑原 義勝	龍田中学校
3	副会長 (鹿本)	浅香 幸一	岩野小学校
4	荒玉	池田恵利子	南関第一小学校
5	菊池	児島 光子	護川小学校
6	阿蘇	嶋田 秀明	一の宮中学校

	地区	氏名	学校名
7	上益城	井手上恵理子	袴野小中学校
8	宇城	奥村眞由美	走瀉小学校
9	八代	田中 裕幸	深水小学校
10	水葦	宮石 勉	佐敷中学校
11	球人	後藤 春海	中原小学校
12	天草	岩佐 克博	御領小学校

監事は菊池と天草から選出されます。

## 事務局

		地区	氏名	学校名
事務局長		熊本	藤川 英一	桜木小学校
事務局員	総務	天草	入江 政司	登立小学校
		熊本	石川奈津美	芳野中学校
	会計	熊本	仲光 賢治	錦ヶ丘中学校
	事業	阿蘇	岩下 久美	上色見小学校

## 旧役員さんです

会長 日野 育夫(阿蘇)

副会長 今坂 誠也(菊池)

理事 古賀 敬了(荒玉)  
 村上 智春(上益城)  
 福田 實(宇城)  
 上野けい子(八代)

監事 池上 清子(鹿本)  
 貝瀬 國光(上益城)

事務局員 原口 豊(熊本)

研究部員 竹下美穂子(鹿本)  
 横田 方正(菊池)  
 告本 哲也(上益城)  
 山下 文(水葦)  
 山田 康博(天草)

旧役員の皆様大変

お世話になりました。

## 研究部

		地区	氏名	学校名
研究部長		球人	大岩 眞二	人吉市立第一中学校
研究部員	研究班	熊本	今坂 文枝	東町中学校
		鹿本	外村やよい	八幡小学校
		天草	濱 明満	一町田小学校
		宇城	丸塚 裕子	海東小学校
		八代	大井 聡恵	有佐小学校
		荒玉	宮村 浩平	南関中学校
	編集班	球人	北里 良徳	人吉西小学校
		菊池	井野 亮子	武蔵ヶ丘中学校
		上益城	矢壁 建	清和中学校
		水葦	荒木 光夫	水俣第三中学校
阿蘇	新村美奈子	久木野小学校		



## 第28回県事務研大会の概要

- 1 大会テーマ 学校事務の改革と創造を目指して 語り合おう！ 21世紀の学校事務像を
- 2 目 的 (1) 学校の自主性・自律性の確立が求められるなか、学校経営の改善を目指した学校事務職員制度改革の研究を推進する。  
(2) 児童・生徒の学習環境を整えるため、教育諸条件の整備確立を目指した研究を推進する。  
(3) 学校事務改善の研究を深め、学校経営の一翼を担う職員としての資質向上をはかる。
- 3 主 催 熊本県学校事務研究協議会
- 4 後 援 熊本県教育委員会、熊本県市町村教育委員会連絡協議会、熊本市教育委員会、熊本県小中学校長会
- 5 参加対象者 小・中・養護学校の学校事務職員（県費及び市町村費）、学校事務担当者、県教育委員会・市町村教育委員会職員、その他参加希望者
- 6 期 日 平成14年10月29日（火）～30日（水）
- 7 場 所 1日目全体会場 メルパルク熊本  
2日目分科会場 テトリア熊本、メルパルク熊本
- 8 日 程（予定）

10月29日 (火)	9:20 受付	10:00 開会 大会行事	10:40 総会行事	11:40 昼 食	13:00 全体研究会 「学校事務職員制度の 課題と展望」	16:00
10月30日 (水)	9:00 受付	9:40 分 科 会	11:40 昼 食	13:00 分 科 会	15:30 閉 会 行	15:40

- 9 参 加 費 2,000円
- 10 全体研究会 「学校事務職員制度の課題と展望」のテーマの下に、今年度の研究テーマである「共同実施」について、研究部の研究成果を発表する予定です。また、2年ぶりに講演を予定しています（講師折衝中）。
- 11 分 科 会 各地区から提出されるレポートをもとに、第1分科会「学校経営と学校事務」、第2分科会「教育条件整備」、第3分科会「事務改善」を設置します。

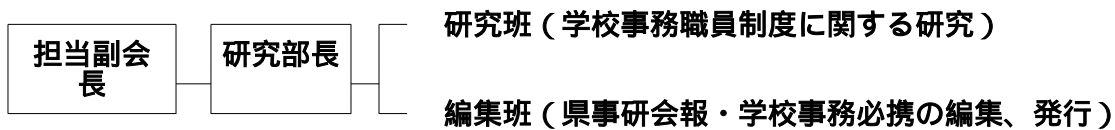
分科会レポート調査票の提出 7月31日まで（研究部長へ）  
レポートの提出 8月27日（第1回分科会運営会議の折り）

# 研究部会だより



第1回研究部会が5月17日に、第2回が6月19日に開催されました。研究部会は、担当副会長1名、研究部長1名、研究部員11名（各地区から選出）の13名で構成されています。第27回大会で策定された「研究推進5カ年計画」に従い、今年度の研究課題は「事務の共同実施」です。引き続き、熊本県における学校事務職員制度の確立を目標として研究を進めています。

## 研究部の内部組織・機構と各班の業務分担



上記の日常業務の他、県大会運営に関する企画等、県大会関係業務を行います。

## 第2回目の会議ではこんな研究がありました

- \* 全国の職務規程調査・・・インターネットで全国の例規集を検索し、その中で公印・文書・情報・その他事務職員に関する内容を抜粋したものについての報告。
- \* 共同実施についての討議・・・県内の様子や他県の実施状況報告。
- \* 県大会への発表に向けて・・・共同実施を行うことでどんな業務が効率化できるかを旅費や文書事務などに別れて検討する。
- \* 県大会全体会について・・・シンポジウムや講演などの内容を検討。



事務職員歴10年目、研究部2年目になりました阿蘇の久木野小学校の新村です。編集班の中で水俣第三中学校の荒木先生と二人で会報の係をしています。今年の会報では各地区事務研の様子や事務室の紹介などができれば、と考えています。今回の会報はいかがでしたでしょうか？事務局や県事研会報へのご意見ご要望の他、短歌や詩など（できれば学校事務を題材にしたもの）をお寄せ下さい。皆さんに親しまれる会報作りを目指します。（広報班）

mailアドレス・・・[niimura@mth.biglobe.ne.jp](mailto:niimura@mth.biglobe.ne.jp)





## 故 永野 健一 先生を悼む

6月12日いつもどおりに出勤し今日も忙しくなりそうだと考えていたところに、藤園中から電話があり「永野先生が今朝亡くなられました。」突然の連絡に私は驚きで声が出ませんでした。6月6日熊本市事務研全体会の折りに、いつもどおり一番前の席に早くから出席しておられ、周囲と元気そうに会話されていらっしやったことを鮮明に記憶していましたので、まさか永野先生が亡くられるなんて、まったく信じられませんでした。先生には最近特に健康管理をなされ生き生きと生活なさっているように思っている矢先のことでしたので、詳しく事情を伺うまではとても信じることはできませんでした。会でお会いしたときのこやかな笑顔が思い出されてなりません。

先生とは熊本市の北部地区事務研で一緒でした。前年度は地区委員長として会をとりまとめていただき先生のご活躍は皆さんご存知のことと思います。大らかにしてユニークで信念のある発言は、どんなときも適切で感心させられました。その卓越した才能を発揮していただき、多くの課題に先生の深い洞察と適切な判断が今後なくなると思うと残念で仕方ありません。今となってはもっと教えを受けたいことがたくさんあったという無念さを痛感せずにはいられません。その誠実で実直なお人柄は万人の愛するところであり、私たちに事務職員とはかくあるべきものだと思われたいように思います。わたしたちは先生の歩まれた道を標とし、今後を生きていくつもりです。草花を愛され、人を愛され、そして何よりも事務職員を愛された先生、常に子どもの立場に立った学校事務に邁進なされる姿はいまだに忘れられません。

このたびのご逝去の報に接したときわが耳を疑う思いでありました。先生はどんなときも周囲を和やかに包み込んでしまう方でしたから家庭においてもよき夫よき父親であったことでしょう。残された奥様、お子様のお悲しみはいかばかりかと胸のふさがる思いがいたします。先生も道半ばにして、まだまだやりたいことがいっぱいあったのではないのでしょうか。さぞや残念で無念なことであったでしょう。先生の残された愛はご家族の中で永遠に行き続けていくでしょう。悲しみは深く大きなものですが、永野先生の愛が今後ご家族を守り、愛しんでいくことを信じています。

わたしたちにとって先生がいらっしゃらないことは大きな悲しみであり大きな損失です。先生の残された多くのご功績は、みんなの心の中に深く刻まれていることと思います。わたしたちは、先生のこれまで生きてこられた姿に学び、その心を受け継いでいかなければなりません。これからも会員一同先生の思い出を大切に、先生の目指された事務職員像に一步でも近づくよう努力していきたいと思えます。

寂しさは隠し切れませんが、思い出にひたりながら永野先生のご冥福を心からお祈りいたします。

熊本市立小中学校事務研究協議会会長 桑原 義勝

